

成果指標				
成果指標	当該年度実績／前年度実績×100			
指標設定の考え方	年々増加する農林作物被害額の増加に鑑み、前年度捕獲実績に対する当該年度捕獲実績を測定することにより、事業効果を測る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	0.952	1.165	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	タヌキ以外の捕獲実績が、昨年度より大幅に増加しており、今後も総合対策事業と併せた運用を実施し、関係期間と連携しながら、農作物被害防止を図っていきたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	イノシシの捕獲実績は年々増加する等、総合対策事業との一体的運用の効果が伺えることから、引き続き、総合対策協議会や猟友会、農業振興センター担当者会との密な連携のもと、事業実施に努めることが肝要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題